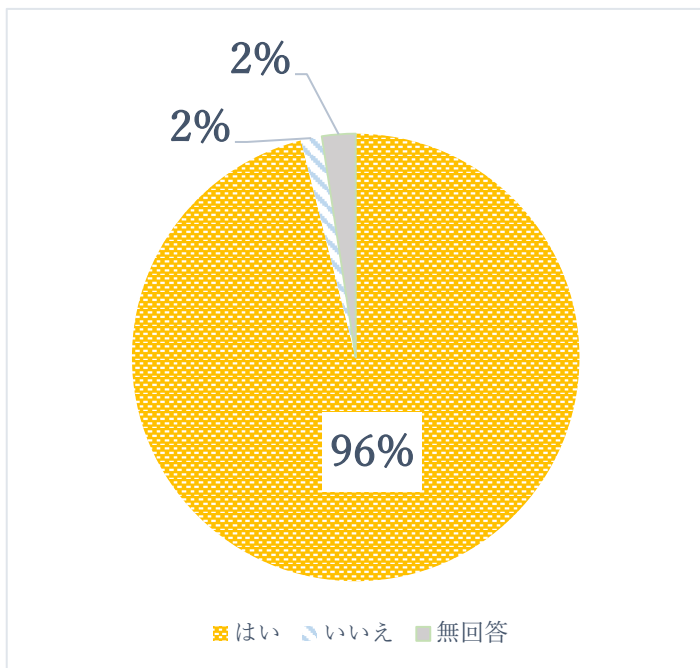


Q1 あなたには自分のペースで安心して過ごせる居心地のよい場所がありますか。あてはまる方に○をつけてください。

1 はい

2 いいえ



はい	317
いいえ	5
無回答	8

平成28年成人のつどい(回答数 153)

はい 140(92%)

いいえ 12(8%)

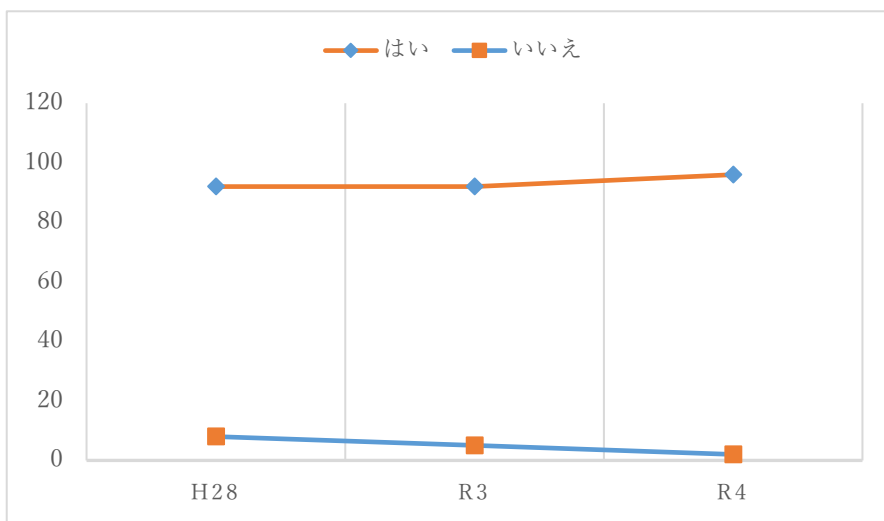
無回答 1(0%)

令和3年成人のつどい(回答数 289)

はい 266(92%)

いいえ 15(5%)

無回答 8(3%)



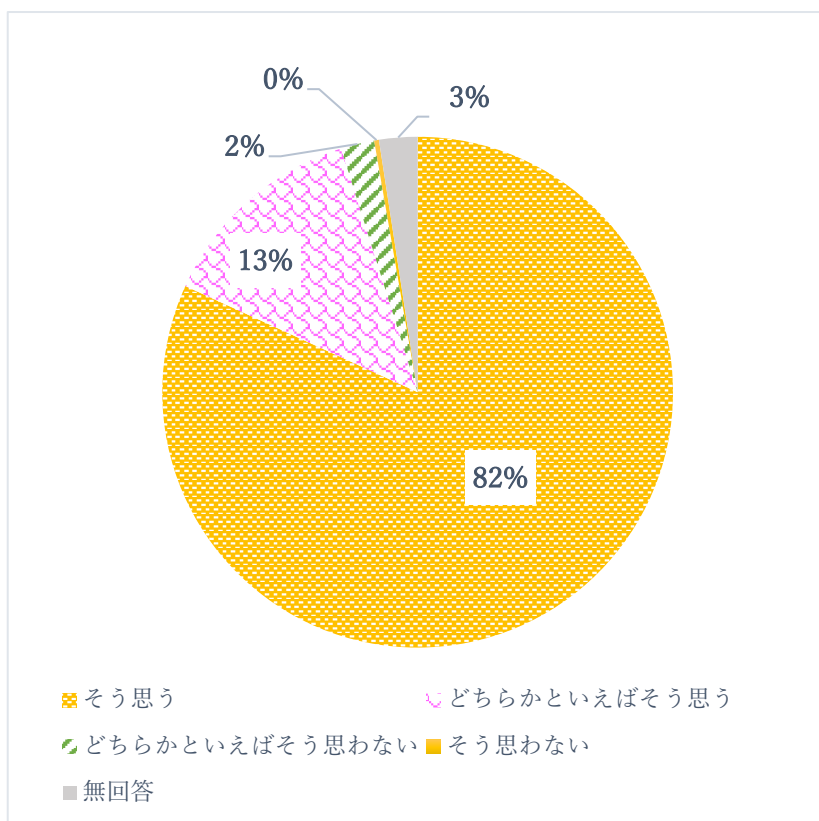
【Q1 考察】

- ・大多数は1つ以上の居場所がある。317人(96%)
- ・平成28年及び令和4年にも同様のアンケートを取っており、「はい」と答えた割合は上がり、「いいえ」と答えた割合は減っていることから、若者が「居場所」があると考える傾向は増えているといえる。

Q2 次の場所は今のあなたにとって居心地の良い居場所となっていますか。それぞれの場所についてあなたの気持ちにもっともあてはまる番号に○をつけてください。

① 自分の部屋

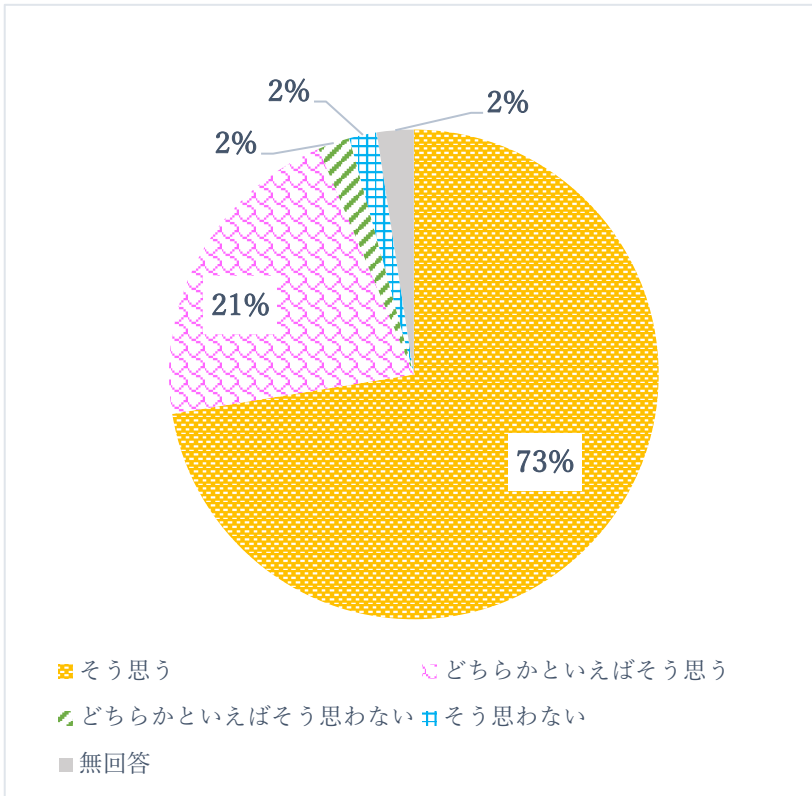
【 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない 】



そう思う	270
どちらかといえばそう思う	44
どちらかといえばそう思わない	7
そう思わない	1
無回答	8

② 家庭(実家や親戚の家を含む)

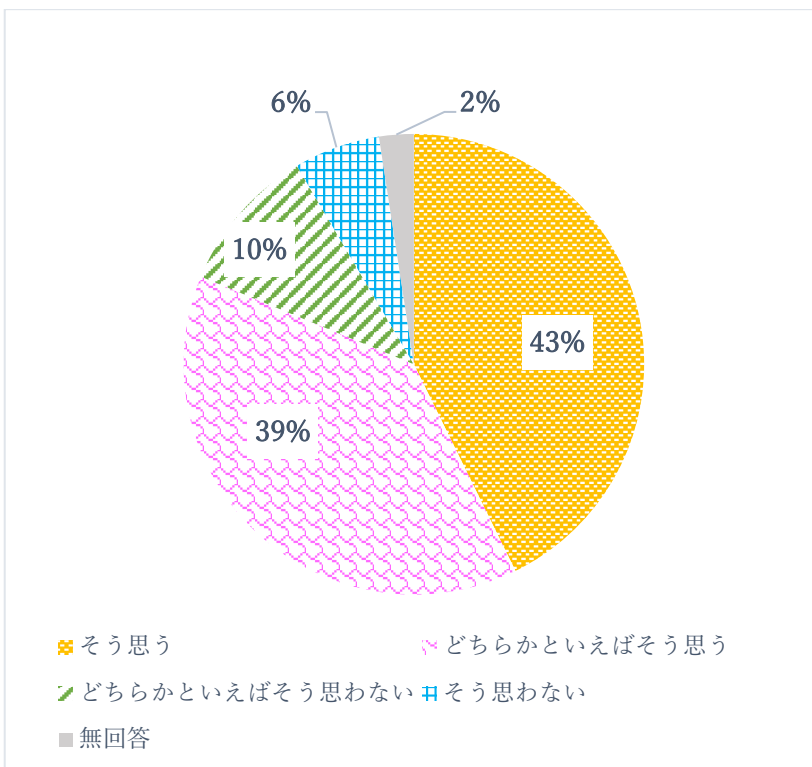
【 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない 】



そう思う	239
どちらかといえばそう思う	70
どちらかといえばそう思わない	7
そう思わない	6
無回答	8

③ 学校や職場(アルバイト先含む)

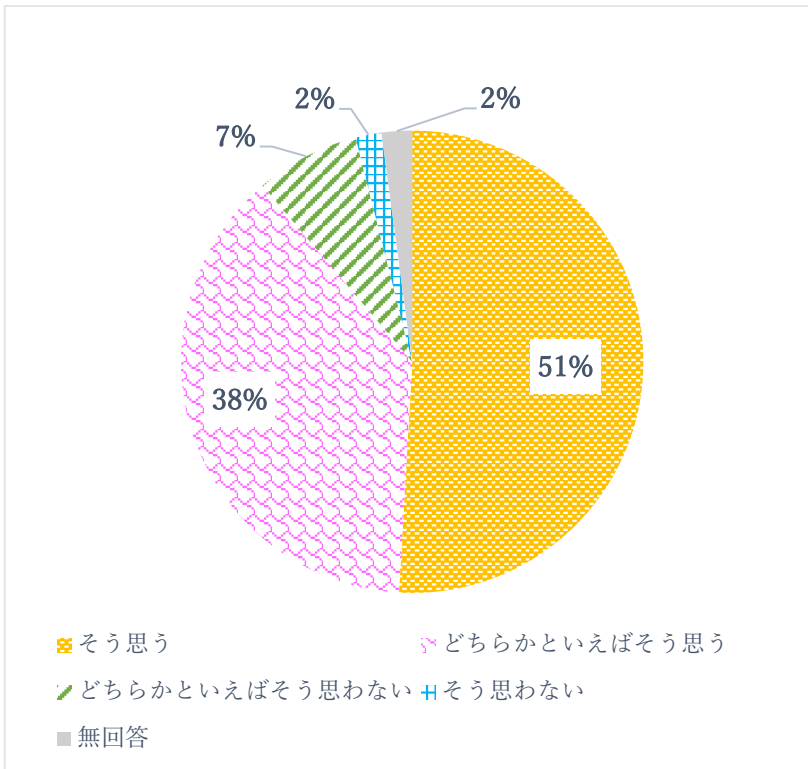
【 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない 】



そう思う	141
どちらかといえばそう思う	127
どちらかといえばそう思わない	34
そう思わない	20
無回答	8

④ 地域(住んでいる場所周辺やそこにある施設など)

【 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない 】



そう思う	168
どちらかといえばそう思う	125
どちらかといえばそう思わない	24
そう思わない	6
無回答	7

【Q1-2踏まえた考察】

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を居場所があるとした場合の居場所の数

居場所の数	0個	1個	2個	3個	4個
人数(330人)	7人	5人	17人	59人	242人
	0個~2個 29人(9%)			3個以上 301人(91%)	

9割の人は居場所が3個以上あるが、10人に1人は居場所が2個以下であり、居場所が1個の人は5人全員が「自分の部屋」を居場所とし、居場所が2個の人は17人中13人が「自分の部屋」を居場所のひとつとしている。17人中「自分の部屋」と「家」が8人、「自分の部屋」と「地域」が3人、「家」と「地域」が3人であった。「学校・職場」を1つの選択にした人は3人であり、「学校・職場」を居場所と捉えることができるかが居場所を3個以上持つために必要だと言える。

Q3 あなたにとって居心地のよい場所とはどのような場所ですか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- 1 一人になれる場所
- 2 仲間と一緒にいられる場所
- 3 その他(どのような場所かお聞かせください) )

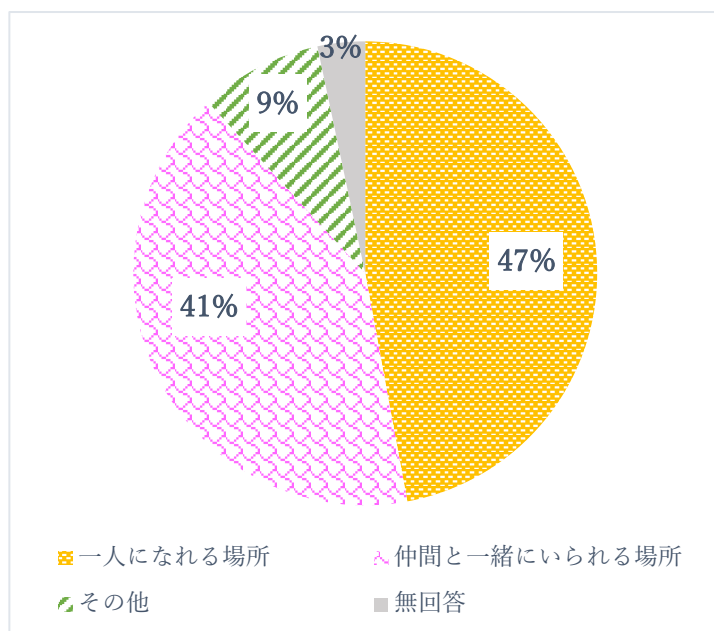
記述

○「1, 2 足した場所」…6件

○「素を出せる」…5件

○「家、自宅」…5件

○「その他」…自分を理解してくれる人がいる場所、家、好きなことをできる場所、友人の家、さまざまな球技ができる体育館が大船体育館以外にもう一つあると嬉しい、ゆっくりできる場所、その時調子がよいかによる、気疲れしない場所、居心地が悪いと思っことがない、気兼ねなく過ごせる場所、気分を尊重してくれる場所、心が休まる 何かを考えなくても良い場所、分からない



一人になれる場所	155
仲間と一緒にいられる場所	136
その他	29
無回答	10

#### 【Q3 考察】

1人でいられる場所と仲間といられる場所の回答はほぼ同じである。自由記述では、「どちらも必要」という回答が目立った。どちらかのみというよりは、状況などによってどちらも必要だと考えられる。また、自由記述では「素でいられる場所」という回答が多かった。「ありのまま、自然体でいられる」場所の在り方を考える必要があると考える。

Q4 「このような場所があったらいいのに」とあなたが思うイメージがあったら教えてください。

また、青少年の居場所づくりについてあなたのお考えをお聞かせください。

記述 「多世代交流」…12件、「勉強」…9件、「仲間と集う」…8件、「くつろげる」…8件、「相談できる」…2件、「運動できる」…6件

○「多世代交流」…12件

- ・Third Place と呼ばれるような気軽に滞在できて幅広い世代の方々と交流できる場所があったらと思います。同じ趣味や目的を持つ人とつながれるプラットフォームがあったらなと思います。
- ・「子ども食堂」のような地域の誰もが安心でき、年齢に関わらず色々な人と交流できる場所があると素敵だなと思います。
- ・新しく入っていらした市民の子たちにも親しめる所があればと小・中で思いました。
- ・人とのコミュニケーションの練習になる場、オンラインで交流できる場所、学校や家以外の第 3 の居場所であって欲しい。
- ・同学年以外との交流などができると自分の世界は学校だけではないんだなとおもえるはず。学生のころはどうしても自分の生きている世界が「学校」だけになってしまい苦しい思いをすることもあるだろうから「あななの世界は学校だけでなく広いんだ」ということがわかると良いと思う。
- ・青少年の居場所づくりについては私たち若年層に限らず老若男女が気軽に訪れることがでる施設が近所であればいいと感じます。
- ・居場所は生きていくうえで必要不可欠なものだと思うので居場所づくりという試みはとても良いものだと思います
- ・色々な人と関わる機会、出会いの場
- ・駅チカに喫茶などが併設されているみんなが集えて悩みや相談が気楽にできる場所があれば様々な世代の交流や青少年の居場所づくりになると思います。そこで働く人はちょっと年上の人だったりすれば同世代に気を使わずにカンタンに来ることができるようになりと思います。
- ・公園が多かったり治安も悪くないので老若男女問わず快適に過ごすことができていないかと思っています
- ・地域の同年代と触れ合う場所。横のつながり、地域のコミュニティを形成できるような場。

○「勉強」…9件

テレワークやオンライン講義に使える場所、私は腰越地区に住んでいるのですが、NECTON 大船のような大学の勉強などの作業ができる場所があったら嬉しいです。、学校に行きたくなくても勉強できる場所、自習室、勉強スペース、図書館以外の自習スペース Wifi がつながる所で夜10時くらいまでやっている所、飲食できる場で勉強できるところ、おしゃべりや学習の場など特に中高生のニーズに配慮した運営に取り組む、自習ができる場所

○「仲間と集う」…8件

みんなが気軽に集まれる場所、広い空間に大人数の人がいる場所、大人数でパーティーなど、部屋を貸りられて、集まることができる場所、無料で友人と集まり会話が出来る場所（おしゃべり、清潔なスペース）、個室の多目的スペース、みんなが集まれる場所、難しいと思うが地域に簡単にいつでも仲間が集まれる場所が存在していればいいと思う、仲間と居られる所

○「くつろげる」…8件

"困ったらとりあえずここに行こう"と思える場所。長居できるスペース、リラックスできる場所、自由にくつろげる場所、wifi 環境が整ったゆっくりできるような場所がもっと多くほしい(おしゃれな場所)、ゆっくりできる、個人の情報を詮索されることなくくつろいで過ごすことのできる場所。(図書館に比べて開館時間が長かったりくつをぬいで過ごせる場所など)、中央公園のようなところにゆったりできるカフェがあったらいいと思います、ゆったり出来る屋内施設

○「運動ができる」…6件

無料のトレーニングルーム、運動のできる公園、気軽に利用できる運動場や体育館があるといいと思います、運動ができる場所。主に球技、スポーツ、公園を増やす(野球やスケボー、制限の少ない公園)

○「音楽関連」…4件

無料のスタジオ、音楽の練習、歌える所 楽器を自由に吹ける所

○「一人になれる、静かな場所」…4件

一人で生活できる場所、外部からの音が全くしない場所、没頭して作業できる場所、一人で作業ができるようなスペース 完全個室

○「相談できる」…2件

何かあった時にすぐ無料で相談できるネットサービス、いつでも相談できる場所があると良いと思います

○「食事関連」…2件

食堂、カフェ、

○「その他」…

普通の公園、昼食後寝られる所(寝ても自分が邪魔にならない空間)。「鎌倉」という街の特性は文化的活動(茶・華など)を学校で行うなどすれば青少年の心の育成に一つ、そして鎌倉を守ることに役立つと考えます。現状に満足、地域のお料理が上手な方から料理を教われる場所があったら嬉しいです。社会全体で子育てを自然に行える場所。核家族化が進む中で子育て疲れを感じている親御さんが増えているように感じている。昭和の古き良き時代づくりのために意識的にそのような場所をつくり、その雰囲気社会全体に広めていけたらいいと思う。遊べる場所、長谷子ども会館のような場所。幼い頃通っていたため今の私が存在しているといっても過言ではない。博物館、大きな図書館、用事が無くても行ける場所、広い公園を増やす、誰もが気軽に来れる場所、例えば今年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」など鎌倉に関連する作品とのコラボレーションを推進することは街おこしに繋がっていくのではないかと考えました。そこでそうした内容の展示などを行う施設があればいいなと思いました。、青少年の居場所づくりは大事だと思う、映画館、自分のやりたいことを応援してくれる場所、完璧な場所、パソコンが使える場所、漫喫みたいな所

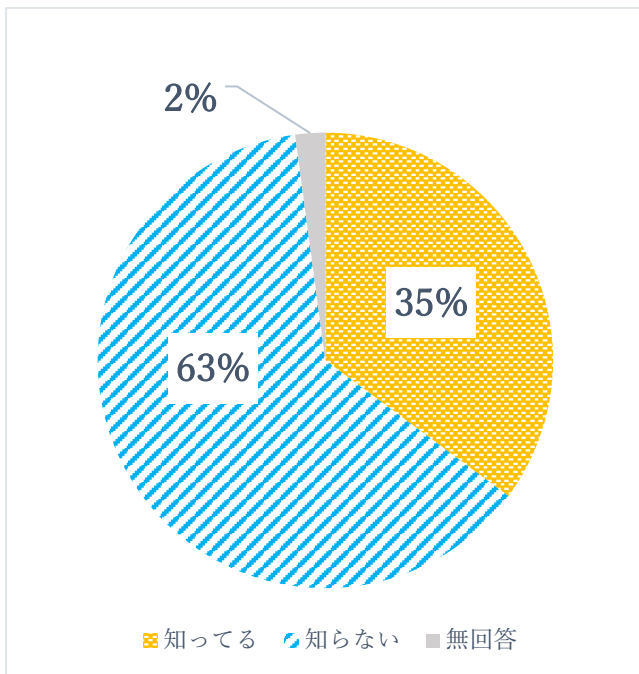
【Q4 考察】「人とのコミュニケーションの練習になる場」や「地域のコミュニティを形成できるような場。」など、多様な人との「交流」を求める「多世代交流」関連の回答が12件と多くあった。また、「みんなが気軽に集まれる場所」や「みんなが集まれる場所」など、「仲間と集う」場に関しては8件と、気軽に集まれる場を必要としている様子があり、どちらも合わせると、人と集える「場所」を欲していることが読み取れる。その他、勉強できる場所、くつろげる場所、運動ができる場所、音楽関連、一人になれる場所と続き、相談できる場所や食事関連の記述があった。

Q5 地域にある施設についてお聞きます。

-(1) 青少年会館(各種講座の実施、会議室の時間貸出を行っています)の存在を知っていますか。

どちらかあてはまる方に○をつけてください

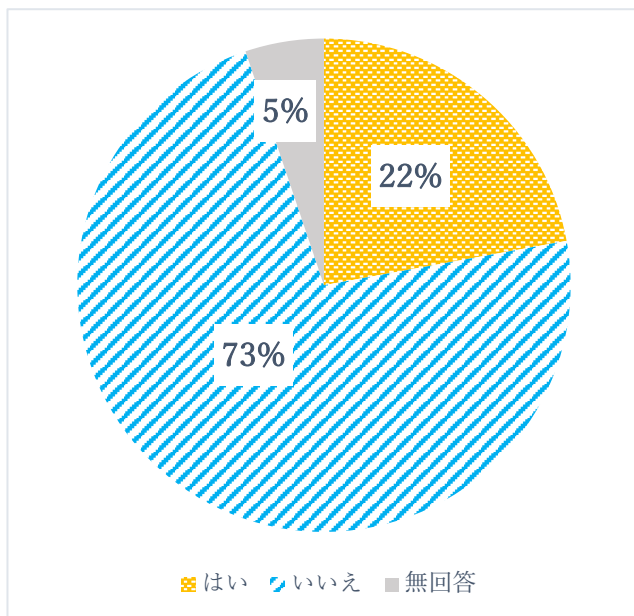
- 1 知っている
- 2 知らない



知っている	116
知らない	207
無回答	7

-(2) 青少年会館を使いたい(使ってみたい)と思いますか。どちらかあてはまる方に○をつけてください。また、そう思う理由を教えてください。

- 1 はい(理由 )
- 2 いいえ(理由 )



はい	73
いいえ	240
無回答	17



【「はい」理由記述】

○「勉強ができる」…5件、

○「講座に興味がある」…8件、

○「集うことができる」…6件、

○「運動ができる」…4件

○「その他」…家が近くて使い易いから、友だちができる、近所に同世代の人が少ないので、楽しそう、地元の人に近いから行きやすいと思う、行ったことがないので興味があります。部活で使用したい、初めての場所でわくわくするから、利用することがあれば使ってみたい、無料で使えて便利だから、ピアノの練習、使ったことがあります、自分が役立つじよのがあるかもしれあいため、遊ぶスペース、利用しやすいから、使ってみたいと思うし知らないことも知ってみたい、安全だから

【「いいえ」理由記述】

○「理由・目的がない」…93件、

○「分からない、知らない」…52件、

○「立地条件」…11件、

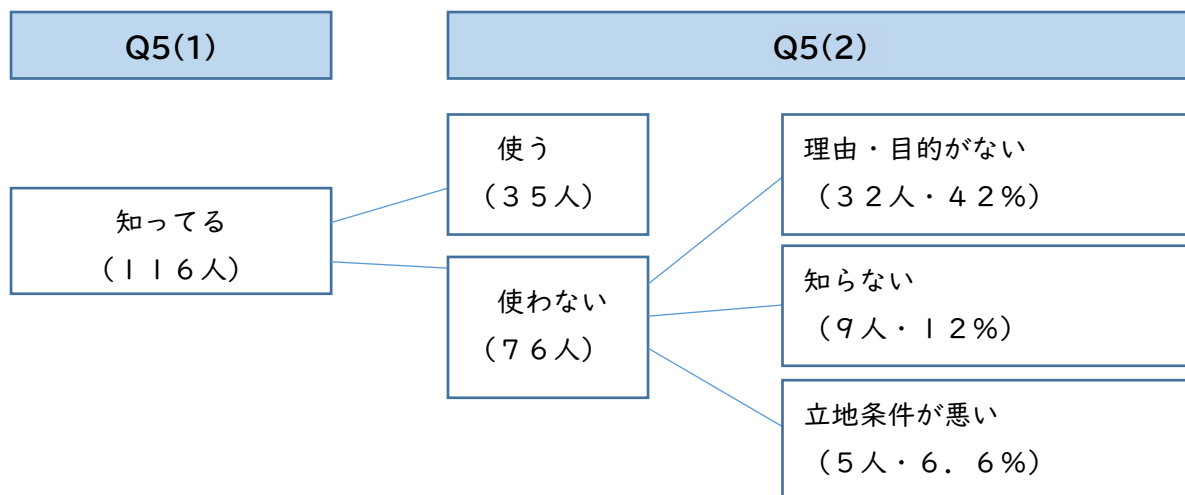
○「時間がない」…7件

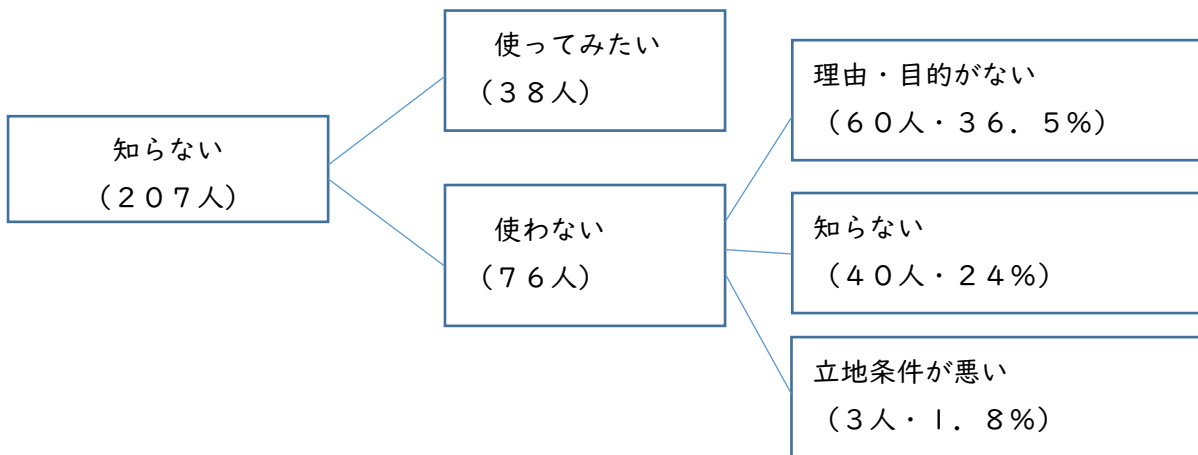
○「その他」…あまり実家にいないため、PCが使えるか分からない。週に一度、大和市の同施設のような場所を使用しており、とても活用しやすいと感じているから。民度が低いため、コロナもあるし家でいたい、子どもが利用するイメージなので、冷暖房がもったきいている場所があるから、以前は友人と学習のため利用したことがあるがコロナ禍では利用し難いため、活動内容を知っている

【Q5(1)、(2)を踏まえた考察】

Q5(1)で「知っている」と答えた人(116人)のうち、Q5(2)で「使う」と答えた人35人、「使わない」と答えた人数76人。「使わない」の理由として一番多いのが「理由・目的がない」32人(42%)、「知らない」9人(12%)、「立地条件が悪い」(5人、6.6%)であり、行く目的がないことが知っているが利用しない理由として多い。

(1)で「知らない」と答えた人(207人)のうち、「使ってみたい」と答えた人38人、「使わない」と答えた人164人。「使わない」の理由として、「理由・目的がない」が60人(36.5%)、「知らない」が40人(24%)、「立地条件が悪い」が3人(1.8%)である。

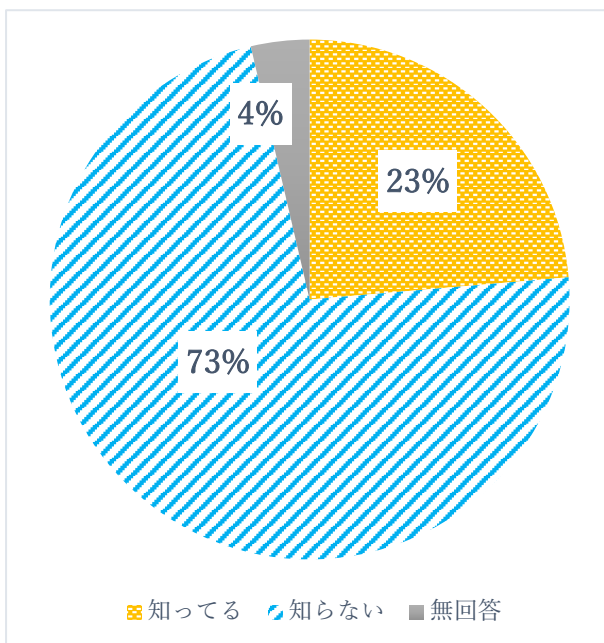




全体で鑑みると、使わない理由として「理由・目的がない」が93人となり、施設の利用を増やすためには、若者が利用する目的を設定する必要がある。自由記述では、「何か興味のある講座があれば参加してみたいから。」、「自分の興味のある講座なら参加したい」など、講座についての回答も見られ、青少年向けの魅力的な講座開催が前記の目的設定として有効であることがわかる。

一(3) 自習スペース(鎌倉生涯学習センター内「わかたま」及び玉縄青少年会館1階に設置)の存在を知っていますか。どちらかあてはまる方に○をつけてください。

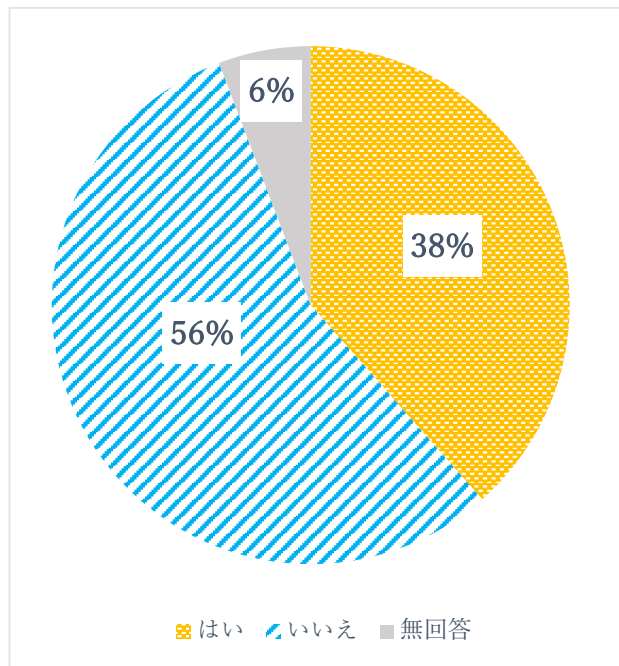
- 1 知っている
- 2 知らない



知っている	78
知らない	240
無回答	12

－(4) 自習スペースを使いたい(使ってみたい)と思いますか。どちらかあてはまる方に○をつけてください。また、そう思う理由を教えてください。

- 1 はい (理由 )  
2 いいえ (理由 )



はい	127
いいえ	184
無回答	19

【「はい」理由記述】

- 「集中できる」…37件、
- 「無料」…3件、
- 「立地条件」…2件、
- 「図書館が混んでいる」…2件
- 「ネット」…1件、

○「その他」…勉強の場が増やせるから、自習できる場所がないから、家以外も一人の時間が欲しいから、もう少し広く開放的だと尚良いです。、便利なので、地域の人との交流の場にもなるから、大学の定期テストの勉強等に利用したいため、勉強できる場所があるのは有難いため、勉強できる場所がほしいと思っていたから、高校生時代使っていたから、気分転換にいつもと違う環境で学習したい、勉強場所として活用できるから、中学を卒業すると自習できる場所が減るから、使いやすいそう、使っています、大学の課題に取り組みたいため、家にいないときに便利だから、以前使って良かったから、課題やりたい、自習する機会が出た時は使いたいです、勉強したいが、勉強スペースがほしいから、高校生のとき使っていたから、机がある方がよい、勉強する場所が欲しいから、勉強する場所が欲しいから、テスト前に使いたい

【「いいえ」理由記述】

○「分からない、知らない」…10件

○「必要がない」…89件、

○「立地条件」…17件

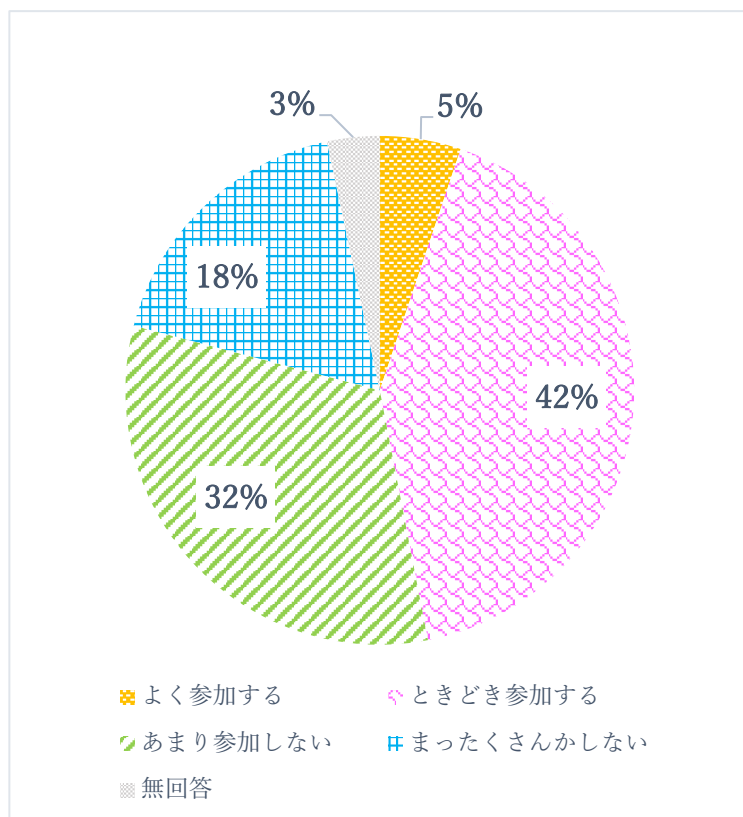
○「その他」…自習が得意ではないから、自分や大学の自習室を利用しているから、コロナもあるし家でいたい、パソコンを使うためのネット環境や充電できないといけないため、1人である機会が増えたため、子どもが多いイメージがあり少しうるさそうだから、遅い時間までやっていないと思うから、好きな雰囲気ではない、何を自習すればいいかわからない、時間がない、他の人に使ってもらいたい、行きやすい自習スペースが他にあるから、1階は小学生がいて騒がしいイメージがある

【Q5(3)、(4)を踏まえた考察】

(3)で知らないと答えた人(240人)の中で、使いたいと答えた人は90人(37.5%)。その理由として「集中できる」と記述した人が28人いた。「集中できる場所」を周知することで利用者が増える可能性がある。

Q6 地域の行事(お祭り等)に参加しますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

- 1 よく参加する
- 2 ときどき参加する
- 3 あまり参加しない
- 4 まったく参加しない

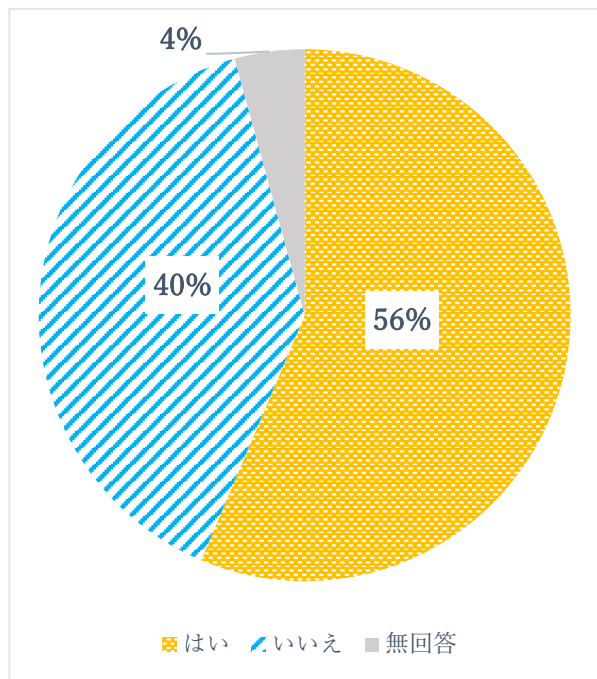


よく参加する	17
ときどき参加する	138
あまり参加しない	106
まったく参加しない	58
無回答	11

【Q6 考察】「よく参加する」と「ときどき参加する」を合わせると47%が地域の行事に参加している。

Q7 地域の活動に参加・参画し、何か地域に役立つことをしたいと思いますか。どちらかあてはまる方に○をつけてください。

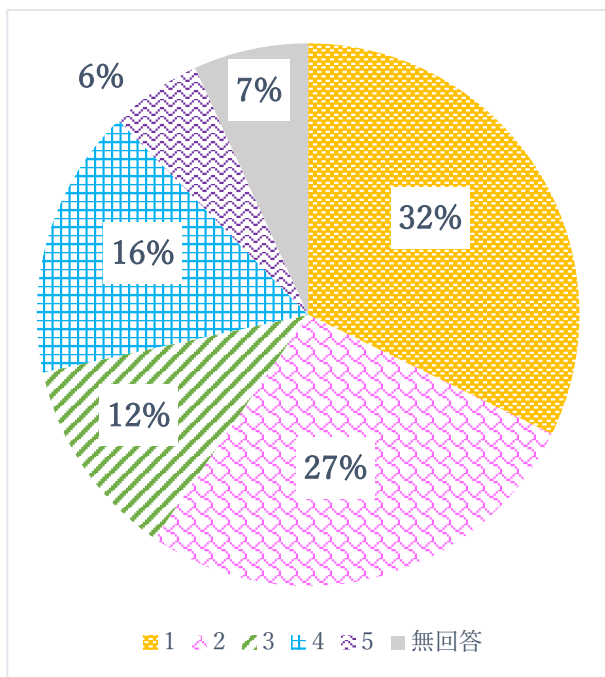
- 1 はい
- 2 いいえ



はい	186
いいえ	130
無回答	14

Q8 Q7で「はい」と答えた方にお聞きします。地域のどのような活動に参加・参画したいですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 スポーツ・文化活動(スポーツやレクリエーション指導等含む)
- 2 清掃・環境保護活動
- 3 防災・防犯活動
- 4 高齢者や障がい者への支援活動
- 5 その他( )



1 スポーツ・文化活動(スポーツやレクリエーション指導等含む)	110
2 清掃・環境保護活動	91
3 防災・防犯活動	35
4 高齢者や障がい者への支援活動	51
5 その他	15
無回答	28

#### 【Q6—8考察】

Q6で「あまり参加しない」、「まったく参加しない」を選択した人、164人の中で、Q7で「はい」と答えた人は83人で、「いいえ」と答えた人は79人(無回答1人)であった。地域の行事に実際参加していなくとも、過半数は地域の活動に参加・参画したいと考えていることがわかる。また、Q7で「はい」と答えた人(186人)の中で、Q6で「あまり参加しない」「まったく参加しない」と答えた人は83人であり、こちらも、地域に関わりたい、役に立ちたいという機運はあるが実際には地域の行事には参加できていない人が半数であることから、地域の行事に関わるきっかけづくりや関りやすい仕掛けをすることで地域と関わることができ、居場所の一つとして地域が捉えられると考える。また、Q8の回答では、スポーツ・文化活動に次いで清掃・環境保護活動や高齢者や障がい者への支援活動のような社会貢献にも関心が高く、SDGsなどが身近である青少年の社会課題への関心の高さが伺える。地域活動の場、地域との繋がりきっかけとして社会貢献できる場の提供有効であると考えられる。

## 【全体考察】

令和4年の成人に関しては、背景として、令和元年の年末に始まったコロナ禍で高校の卒業式や大学の入学式の中止や、大学に入学してもオンライン授業であったり、学校での人とのコミュニケーションを取りづらい時期を過ごした過程がある。

Q2の考察として、「学校・職場」を居場所と捉えることができるかが居場所を3個以上持つために必要だと言える。ここに関しては、「自室」を居場所の1つとして集計しているため、サードプレイスとは、「家庭でも学校（職場）でもない過ごしやすい第三の場所」であるため、「居場所」が3つ以上あるとはいえない。そういう意味では、地域（住んでいる場所周辺やそこにある施設など）あるいはその他の居場所をより増やす必要がある。

1人でいられる場所と仲間といられる場所の回答はほぼ同じである。自由記述では、「どちらも必要」という回答が目立った。どちらかのみというよりは、状況などによってどちらも必要だとも考えられる。また、自由記述では「素でいられる場所」という回答が多かった。「ありのまま、自然体でいられる」場所の在り方を考える必要があると考える。

「青少年会館」の利用を増やすためには、施設の周知を図るとともに、若者が利用する目的を設定する必要がある。自由記述では、「何か興味のある講座があれば参加してみたいから。」「自分の興味のある講座なら参加したい」など、講座についての回答も見られ、青少年向けの魅力的な講座開催が前記の目的設定として有効な可能性がある。「わかたま」においては、まずは周知が必要だが、「集中できる場所」を周知することで利用者が増える可能性が示唆される。

地域に関わりたい、役に立ちたいという機運はあるが実際には地域の行事には参加できていない人が半数であることから、地域の行事に関わるきっかけづくりや関りやすい仕掛けを作ることで地域と関ることができ、居場所の一つとして地域が捉えられると考える。また、スポーツ・文化活動に次いで清掃・環境保護活動や高齢者や障がい者への支援活動のような社会貢献にも関心が高く、SDGsなどが身近である青少年の社会課題への関心の高さが伺える。地域活動の場、地域との繋がりきっかけとして社会貢献できる場の提供が有効であると考えられる。

最後に、Q1で「いいえ」、居場所がないと答えた5人の回答を追った。Q2①自室は3人が「そう思う」と回答しており、②家庭は4人が「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」となっている。③学校・職場は2人が「そう思う」3人が「そう思わない」、④地域は3人が「どちらかといえばそう思う」、2人が「そう思わない」となっている。「居場所」がないと考えている人の中にも、「自室」や「地域」を「居場所」と思うと回答している。ここから見えることは、「居場所」という定義が個人で曖昧であり、各々が考える「心の」居場所がないという意味なのではないかと捉えることができる。また、自室、学校、地域を居場所だと考え、家庭を居場所ではないとの回答が多いことから、家庭を居場所でないと思う場合、心の「居場所」がないと考える傾向があるといえる。さらに、Q6では、地域の行事に「あまり参加しない」「まったく参加しない」が計3人で、Q7では地域の活動に参加したい、貢献したいという回答は「いいえ」が4人であり、地域に積極的に関わりたいという姿勢は見られなかった。